平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名　株式会社ダイショー　　上場取引所　東
コード番号　2816　URL　http://www.daisho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松本　洋助
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部広報室長　(氏名) 堀脇　裕之　TEL 092-611-9340
四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,809	1.3	184	△26.3	188	△25.3	112	△30.9
23年3月期第1四半期	3,761	9.7	250	66.6	251	68.5	162	124.2

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　113百万円　(△29.2%)　23年3月期第1四半期　159百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.62	―
23年3月期第1四半期	16.82	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,872	6,084	56.0
23年3月期	11,218	6,048	53.9

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　6,084百万円　23年3月期　6,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,910	0.7	440	△23.5	440	△24.1	220	△31.4	22.79
通期	17,300	2.2	1,200	△10.4	1,200	△11.2	610	△3.2	63.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	9,868,800 株	23年3月期	9,868,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	215,772 株	23年3月期	215,701 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	9,653,069 株	23年3月期1Q	9,653,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、３月11日に発生した東日本大震災による未曾有の被害と福島原発事故による電力供給不足や風評被害などにより先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましても、東日本大震災の影響などにより雇用、所得環境への不安が一層高まり、生活防衛意識がますます高まっていることなどから、当社を取り巻く経営環境はさらに厳しいものとなっており、原材料高騰や電力不足による節電対策などさまざまな外部環境への対応が求められています。また、食に対する消費者の価値観や生活スタイルも変化の兆しがみえはじめています。

このような状況の下、当社は、販売チャネルの拡大強化、製品力強化（コラボレーション品などの拡充）、ブランド価値向上に取り組んでおります。

また、消費者の節約、簡便ニーズにお応えするために、利便性を高める小売用製品の拡充や提案営業、販促活動を展開してまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は、38億9百万円（前年同期比101.3％）となりました。利益面につきましては、売上原価の上昇が影響し、営業利益は、1億84百万円（前年同期比73.7％）、経常利益は、1億88百万円（前年同期比74.7％）となり、四半期純利益は、1億12百万円（前年同期比69.1％）となりました。

当第１四半期連結累計期間においては、売上高、利益ともにほぼ期初の計画通りに推移しております。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

＜食品事業＞

たれ類では、焼肉、炒め物など汎用調味料として訴求した販促活動により、焼肉のたれ以外の使い方が定着し、『秘伝焼肉のたれ』、『焼肉通りにんにくしょうゆ味』の実績が拡大し、業務用製品も中食向け製品などの伸長により前年同期実績を上回ったものの、全体では低調な売上となったことから、前年同期実績を下回りました。

スープ類では、春先からの天候不順による野菜価格の高騰があったものの、夏鍋のメニュー提案により、『ＣｏＣｏ壱番屋　カレー鍋スープ』をはじめとするバラエティ豊富な製品群が安定した販売を維持し、前年同期並の実績となりました。

粉末調味料類では、これまで順調に推移してきた『味・塩こしょう類』は、小売用、業務用ともに前年実績並みで推移いたしました。『もちもちねぎチヂミの素』など新製品が売上に貢献しましたが、前年同期実績を下回りました。

ソース類では、食材との拡販を図った『ＣｏＣｏ壱番屋　煮込みハンバーグソースデミカレー』が牽引し、前年同期実績を上回りましたが、青汁類では、主力の『５つの野菜でつくったまろやか青汁』は堅調に推移したものの、その他製品が前年同期実績を下回りました。

また、ドレッシング類では、加工食品との競合による影響を受けたことにより、前年同期実績を下回りました。

その他では、新製品『鶏肉のトッポギ炒め用セット』をはじめとする韓国シリーズが売上に貢献し、前年同期実績を大きく上回りました。

以上の結果、食品事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、37億87百万円（前年同期比101.3％）となりました。

＜外食事業＞

外食事業は、子会社ダイショーフードシステムズが運営する「博多もつ鍋　来しゃい」3店舗であります。（日本橋店、虎ノ門店、赤坂店）

「博多もつ鍋　来しゃい」では、食品事業で培った強みを活かし、新たなメニュー開発を行うとともに、品質向上やお客様の立場に立った、接客・サービスレベルの向上に努めてまいりました。

以上の結果、外食事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、21百万円（前年同期比97.4％）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少し、108億72百万円となりました。固定資産が総資産の57.7％を占め、流動資産は総資産の42.3％を占めております。主な資産の変動は、「現金及び預金」が5億4百万円減少し、「商品及び製品」が1億40百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億81百万円減少し、47億88百万円となりました。流動負債が負債合計の67.7％を占め、固定負債は負債合計の32.3％を占めております。主な負債の変動は、「未払法人税等」が1億74百万円、「賞与引当金」が1億91百万円、「災害損失引当金」が99百万円それぞれ減少し、「未払金」が1億5百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、60億84百万円となりました。主な純資産の変動は、配当77百万円の支出と四半期純利益1億12百万円の増加により「利益剰余金」が34百万円増加したことによります。自己資本比率は56.0％となり、前連結会計年度末に比べ2.1％増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年５月10日に公表いたしました予想に変更はございません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表等

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,830	1,326
受取手形及び売掛金	1,922	1,944
商品及び製品	523	663
仕掛品	2	0
原材料	214	283
その他	439	457
貸倒引当金	△75	△75
流動資産合計	4,857	4,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,704	1,677
土地	2,658	2,658
リース資産（純額）	570	516
その他（純額）	536	528
有形固定資産合計	5,470	5,381
無形固定資産	35	32
投資その他の資産		
投資その他の資産	853	856
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	850	853
固定資産合計	6,356	6,268
繰延資産	4	2
資産合計	11,218	10,872

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,296	1,374
短期借入金	184	172
未払金	899	1,004
未払法人税等	258	83
賞与引当金	376	185
役員賞与引当金	19	4
災害損失引当金	108	8
その他	416	409
流動負債合計	3,558	3,242
固定負債		
長期借入金	400	360
退職給付引当金	336	349
役員退職慰労引当金	419	423
その他	454	412
固定負債合計	1,611	1,545
負債合計	5,169	4,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	4,909	4,944
自己株式	△114	△114
株主資本合計	6,045	6,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
その他の包括利益累計額合計	2	3
純資産合計	6,048	6,084
負債純資産合計	11,218	10,872

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	3,761	3,809
売上原価	1,929	2,035
売上総利益	1,831	1,774
販売費及び一般管理費	1,581	1,590
営業利益	250	184
営業外収益	12	11
営業外費用	10	7
経常利益	251	188
特別損失	0	4
税金等調整前四半期純利益	251	183
法人税、住民税及び事業税	91	71
少数株主損益調整前四半期純利益	159	112
少数株主損失（△）	△2	－
四半期純利益	162	112

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	159	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	159	113
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	162	113
少数株主に係る四半期包括利益	△2	―

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。